

片付けで防災対策

自宅を安心・安全な場所にするために大切な片付け。いざという時のために、家の中をチェックしてみましょう。



玄関・廊下

玄関まわりや廊下は避難のために物は置かないことが基本です。物を置きっ放しにせず、いつもキレイに片付けておきましょう。



〈非常灯〉

停電したら自動点灯し、取り外して懐中電灯になり便利。



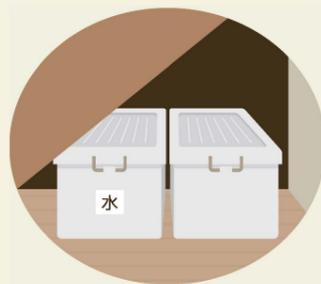
防災グッズ

きちんと片付いていないと非常時に必要な物がすぐに見つかりません。定位置を決めておきましょう。「非常用持ち出し袋」は寝室や玄関に。懐中電灯などは何ヶ所かに置いておくのがベストです。



備蓄

できるだけ不要な物は処分して、非常用の食料や水、生活用品などの備蓄スペースを確保しましょう。かさばる水などの段ボールには中身が分かるように目印をつけます。どこに何をしまっているのか置き場所を家族で共有しておきましょう。



〈1年に1度は点検を〉

使う機会がないと忘れがちな備蓄品。非常食や水などの消費期限や、電池やバッテリーの劣化など、年に1度は点検しましょう。中身の見直しも忘れずに。

家族と暮らしを守る

まもりとそなえ



防犯・防災の基礎知識&対策

地震に強い家

安心・安全な住まいづくりのヒント

防災アイデア・デスクまわりの地震対策



弊社は「地域防災ステーション」として災害発生時に備え、地域の皆様と一緒に防災力を高めるために「まもりとそなえ」をお配りしています。ぜひお手元に保管して、ご家族や近隣の皆様とご覧ください。

防災アクション

知っておこう「罹災(りさい)証明書」

「罹災証明書」とは「地震や水害、風害、火災などで家屋等に被害を受けた場合に、被害の程度や原因等を証明するもの」です。

何の役に立つの? 「義援金」、「見舞金」など公的支援を受ける時に。

申請はどこで? 「地震・水害・風害」:市町村 「火災」:消防署

ポイント

- 必ず片付けをする前に、証拠として写真を撮っておきます。
- 「半壊」「全壊」などを安易に自分で判断しないことが大切です。
- 被災してから1ヶ月～6ヶ月等と締切りがあるので注意しましょう。

きちんと家全体の被災写真を撮ることが大切なんだよ。

わからない時は市町村の窓口聞いてみよう。



マモルくん

ソナエちゃん



住まいに関するお悩みやリフォーム全般、耐震診断までお気軽にご相談ください。



〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪 657-3

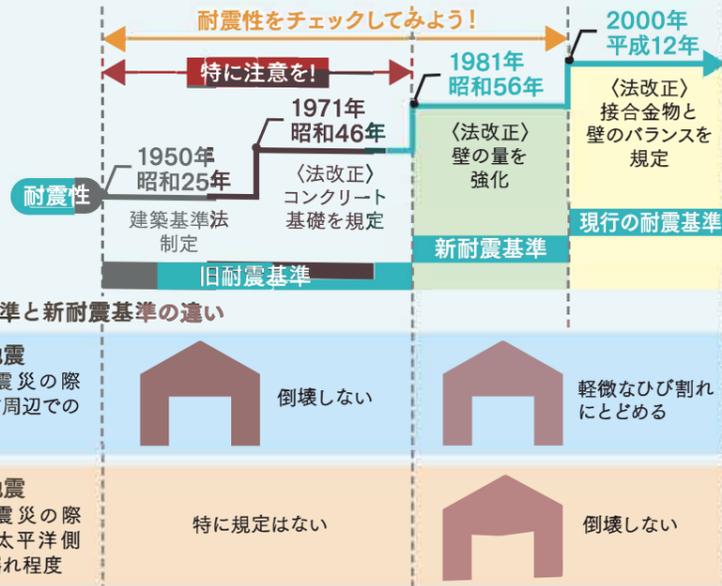
0120-968-175

01 知っておきたい！ 防犯・防災の基礎知識&対策

地震に強い家

一定の強さの地震が起きても倒壊または損壊しないように、建物の「耐震基準」は「建築基準法」で定められています。1981年(昭和56年)6月に施行された新基準と、それ以前の旧基準で区別されることが多いのですが、その後も改正を重ね2000年(平成12年)6月に現行の耐震基準となりました。2000年5月以前の住宅は現行の耐震性を満たしていない場合も多いのが現状です。

【築年数による耐震基準】



耐震性をチェック

お住まいに当てはまる項目はありますか?



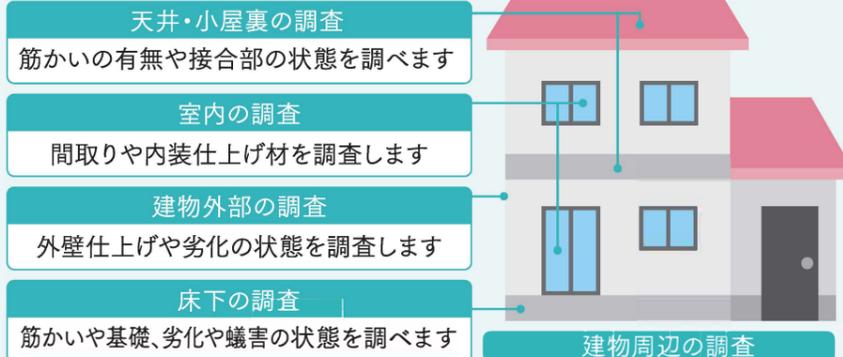
- | | | |
|--|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1981年5月31日以前に建てた | <input checked="" type="checkbox"/> 基礎や外壁にひびがある | <input checked="" type="checkbox"/> 建具の建てつけが悪い |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2000年5月31日以前に建てた | <input checked="" type="checkbox"/> 和瓦、洋瓦などの重い屋根である | <input checked="" type="checkbox"/> 床の傾きを感じる |
| <input checked="" type="checkbox"/> 屋根や外壁の手入れをしていない | <input checked="" type="checkbox"/> 1階に壁が少ない | |

1つでも当てはまった方は「耐震診断」をおすすめします

耐震診断を受けましょう

【専門家による耐震診断】

診断箇所



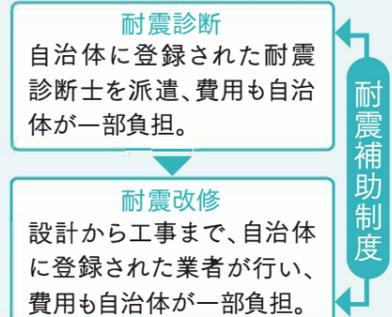
診断結果 診断の結果は数値で表し、評価基準にあてはめて判断します。

上部構造評価	判定
1.5以上	倒壊しない
1.0以上~1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上~1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

診断結果が1.0に満たない家は対策が必要です。

【耐震補助制度を活用】

政府や自治体では、地震に強い家の割合を高めるために「耐震補助制度」をもうけています。また広報誌などで積極的に告知を行っていますので、ぜひお住まいの自治体の窓口にお問い合わせください。



補助制度は各自治体で内容が異なります。詳細は必ずお近くの市区町村にお確かめください。

※(財)日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」による

02 安心・安全な住まいづくりのヒント

在宅避難できる住まいは心強いね。



防災対策リフォーム

災害に強い住まいにリフォームしましょう。

●地震対策

【壁の強化】

建物自体の重さや、地震・風に対抗して建物を支えてくれる壁を「耐力壁」といいます。バランスよく「耐力壁」を配置することで、地震力に対して正しい抵抗力が働きます。



【開口部の強化】+【断熱】

木質耐震フレームで開口部の耐震性を強化し、同時に樹脂窓への交換で断熱向上。



YKK AP FRAMEII

【基礎と柱を緊結】

住宅の外側から設置できる「後付ホールダウン金物」。地震時の倒壊原因のひとつである「ホゾ抜け」を防止します。



エイム かぞくまもる

●風雨対策

【シャッター(耐風タイプ)】

強風に耐えるタフなシャッター。飛来物から窓を守ります。



LIXIL リフォームシャッター 耐風タイプ

●エネルギー対策

【エネファーム】

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム。ガスから取り出した水素を使って「電気」をつくり、その熱で「お湯」もつくるシステム。



レジリエンス機能搭載。停電時でも最長8日間発電を維持。お湯も使えて安心。

Panasonic エネファーム レジリエンスモデル

【家庭用蓄電池】

夜間に電力会社からの電気を充電し、ふだんも給電。停電時に最低限の電気をバックアップ。



Panasonic リチウムイオン蓄電池

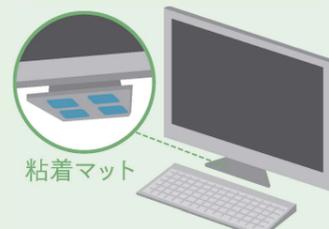
03 防災アイデア

テレワークのスペースの安全性もこれからは大事だね。



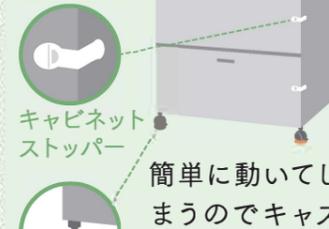
デスクまわりの地震対策

パソコン



モニターが倒れないように「粘着」マットで対策。

ワゴン



簡単に動いてしまうのでキャスターはロックして「下皿」をセット。

本棚



倒れないように対策し、本や小物の落下防止に「つっぱり棒」や「防止ベルト」で対策を。



ストッパー

※(財)日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」による